

会 議 録

会議名	令和5年度 第2回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	令和5年5月23日(火) 19時00分～20時00分	
開催場所	本町暫定庁舎第1会議室及び一部オンライン会議	
出席者	委員	深草委員長、森永委員長、堤委員、中山委員、鈴木委員、東小川委員、太田委員、金澤委員、神山委員、沢田委員、青木委員、良知委員
	事務局	野村学童保育係長
欠席者	高藤委員	
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 民設民営学童保育所について (2) その他 3 閉会	
配布資料	【資料5-7】参考資料(アンケート速報)(児童アンケート速報値)	
議事	1 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介 2 議題 (1) 民設民営学童保育所について (市) 前回の協議会の中で、民設民営学童の自主事業について市の関わり方の話があった。例えば習い事等の自主事業について、事前に届け出はしてもらいが、費用の設定に関わる予定はない。近隣市にも確認したところ、事業を計画として事前にどのような事業を実施するかは届け出てもらおう。しかし、金額設定に関して、利用者に事前説明をした上で実施してもらおうということとし、金額の関与はしない。 (学) 近隣の市の方の情報とかもいろいろ仕入れられて、同じような価格設定を考えているということか。	

(市)

金額設定については関与しないことになっており、法外にならないように、良質なサービスには努めていくことになる。

(市)

アンケートについて、一部のたまむし、ほんちょう、たけとんぼ、さわらび、公設学童の保護者に対してアンケートを実施。

ご協力に感謝する。再度お送りしたものについて1点だけお伝えする。

(市)

保護者の方向けの設問のうち、「学童保育所での過ごし方として望むこと」で資料が三つあり、当初、活動的にのびのび過ごすであったが、活動的にのびのびと過ごすのがわかりにくいと判断して、外遊びなどとし、追記した選択肢とした。その他について変更はない。現時点で速報値を、本日メールにて送付、結果として保護者向け児童向けの2種類を送付した。

(市)

アンケートは回答数223件、児童数657件という結果となった。

(市)

特に民設民営学童保育所を整備するに当たって、公設学童保育所の保護者が、利用料が発生しても利用したいサービスはどの点なのか。市の方で検討し、選択肢を1から6まで作成した。

1番(小学校4年生以上の利用)、3番(宿題の指導や専門的知識のある人による学習や活動の支援)、5番(学校休業日等の食事(昼食、夕食)の提供)、が124件、122件、121件と多くの回答だった。次点については、4番(学童保育所から自宅近くの拠点への送迎)そして2番(19時以降の延長保育)という結果となった。下段についての質問。3番、1番、5番が125件、100件、97件と多くの回答得られた結果となっており次点として4番2番という結果となった。

次に子供たちの結果。一番下の方見ると、回答人数、524人に対して、回答数1,011件となっており、子供向けアンケートは指導員が選択肢を模造紙に書き出して1人につき2枚シールを貼って回答するというような形をとった。中には1枚だけ貼ったという児童もいた。以上の結果を受けて、今後の民

設民営学童保育所の整備に当たって、保護者並びに子供のニーズとして、参考としたい。

(市)

本市では大規模化が進んでいる学童保育所を4か所、市の方で指定してアンケートを実施した。短い期間にも関わらず、ご協力いただいたことを感謝している。児童の過ごし方というところ、保護者の方には利用したいサービスに関して設問を設定している。児童、保護者の方も外遊びを希望されていることが多いという結果である。

保護者の方からは学習や宿題の時間を取ってほしいと多くの意見をいただいている。

児童に関しては、創作やおやつ作りをというところが、21%で、外遊びに次いで多い。やはり創作活動、児童が何か作ったりして、過ごすことを望んでいると考えているが、大規模化が進んでいる学童保育所内で一人一人のサポートは難しい状況がある中で、児童が望んでいることが上がってきている。

保護者の方から利用料が発生しても、利用したいサービスというところで、宿題学習サポートは多いという結果と、現在学保連、父母会により、学校休業日の宅配弁当の提供をされているが、こうした食事の提供のニーズは非常に高い。延長時間に関する、19時以降公設では対応していない時間外の対応を望むというニーズもそれなりにあるという結果だった。

(市)

現在公設学童で行っていないサービスを民設学童で多様なサービスで提供できる。事業者から優先度の高い外遊び場所の確保や、学習サポート、何らかの形で児童のサポート的な提案のある事業者の選定を計画している。

(市)

せっきくのアンケートなので、民設だけではなく公設でも可能な範囲で生かしていく。それぞれ強みでこのアンケートはまず活かしていくことが一点。今通わせてない人には違うニーズがあるかもしれないが、今浮かび上がっているのは、公設利用の方に取らしていただいた中でこういうニーズがあるというふうに受け止めている。アンケートを見て、ご意見を伺いたい。運協の委員からうかがえると時間の制約がある中であるが、行政側としても受け止められるので、ご意見を伺いたい。

その中で外遊びに対するニーズがすごく高いことが分かったが、公設は学校と隣接しており、学校の校庭を利用できる強みがある。

民設民営は学校の校庭を利用するのは調整が必要となる。

伸び伸びと動きたい子供たちに、応えるために指導員が考えながら対応してきたことが、一定の満足度に繋がると思う。ただ「子供が楽しく通っていると思いますか」に「あまり思わない」という方もいる、そういうことも受け止め、伸び伸びと動きたいという気持ちを大事にしながら公設も工夫しながら運営する必要がある。その中で、学習に対する保護者側の要望が浮かびあがってきた。以上を含めて、特に会場参加の委員とオンラインの委員の方から伺えればよい。アンケートを見て、大事だと思うとか、意外と思ったなどご意見いただきたい。

(学)

二点段階に分けてお聞きしたい。まず一点目、この設問の項目はどういう過程で作ったのか。

(市)

質問に関しては、1番、2番というのは、学童の活動のこと。3番 ウ(お子さんは学童保育所に楽しく通えていると思いますか)に関しては、現在の公設の満足度について改めて伺った。昨年度もアンケートで伺ったが、児童が本来学童で楽しく過ごせているかどうかを再度確認するために設定した。エ(学童保育所での過ごし方として望むこと)に関して、大規模化している中で、児童が思い通りの過ごし方ができているのかということ想定した設問で、児童がどのように学童で過ごしたいか、保護者が児童にどのように過ごしてもらいたいかのニーズを問うために設定した。他の自治体のアンケートも参考にして設問を設定した。

(学)

カ(学童保育所に期待するサービスがあれば記入してください)に関しては何の記載がないからアンケート結果に載せていないということか。

(市)

ホームページなどでの公表を前提としていないアンケートのため、個人的な意見として扱っている。集計したばかりの状況

であるが、報告させていただく。大規模化の問題で施設や行政に関するご意見が一番多い。次に指導員の対応で、もう少し子どもに目を向けてほしいというご意見や、ITの活用で、児童の出欠管理をメールやアプリでできないかというご意見等をいただいている。他に父母会に関するご意見もある。複数いただいているのはこのような内容であった。

(学)

アンケートの目的が多様なニーズとあるが、あまり質問が多様ではない気がするというのが率直な意見。各設問において、お子さんは学童保育所を楽しく通えていると思いますかという内容で、次の過ごし方として望むこと。利用したいサービスというのがもう少し多様さがなかったかと思う。

率直にこのアンケート見て、分かっていることが多い気がする。子供だから外遊びが好きなのは当然で、それを聞いていて、何か設問エ-5番で多様な過ごし方ができること、子供の好きな過ごし方とこれは結局1(外遊びなど活動的にのびのびと過ごすこと)でも2(ゆっくりとくつろぎ静かに過ごすこと)でも、5に含まれるということ。このアンケートの結果をどういうふうに活用していくかということが、説明や個々の紙面上では分からないので、その多様なニーズをどう把握したいのか、今後これがどのように生かせるのかが気になった。

(市)

このアンケートは緊急アンケートの側面があり、細かい設問の設定まではできていない。もう一つは、フォーム、スマホでも入力できるので、沢山の選択肢や長い質問を入れるのが難しいと考えた。アンケートを取った目的は大きく言うと二つある。一つは主な選択肢に対する割合、希望が多いだろうとは予想していた質問だが、それを数字として把握する。

もう一つはこのアンケート結果の資料に載ってないが多様なという中では、自由記述、設問以外のニーズとしてどういうものがあるかというのを把握したいという二点だと思う。

ある程度分かりきっている選択肢の数字であるが、例えばこの後、満足度に合わせて、ニーズがどう変わるという解析はエクセルでできるので、その辺の推移を見ていきたいと考えている。細かく様々な選択肢を用意できているかというのは始めから制約はあるが、このように並び立つのかという意味では数字の一定の受け止めができた。この後、個別記述、集計をする中

で浮かび上がるものを見ていきたい。

(学)

個別記述は出るのか。

(市)

個別記述を出すにあたって、個人が特定されるような文言などは提出できない。

(市)

アンケートの結果に関しては外部に出すことを前提としていないため運協へ協議の参考資料として出すようにするか。

(学)

市のウェブページにアップしようという意図でない。協議会の場で議論しようという話である。

(市)

大きい設問で見えないニーズや意見があるのか、参考であるが複数あったのか一件あったのかというのは共有したい。

もう一方の目的であるその公設学童の方にも生かせるか。この協議会の本来の目的でもあり、共有を考えていく。先週の金曜日に終わったばかりで本日は速報としてお出しする。

(学)

アンケートの内容だけ見たところの感想を言うと親は宿題などしてほしいという話であるが、子供としては遊びたいという、親も遊んでほしいというのがある。

(市)

並び立つニーズがあった。属性を見てみると、別々の方が答えているか同じ方が両方とも選んでいるか、分布を見ると分かると思う。

(学)

子供の方でのんびり過ごしたいというのもある程度の割合でありそうだ。ちょっと外遊び、いろいろ外遊びしたいという子もいるし、騒がしいというところで静かにしたいと思っている子もいる。

もうすこし静かなところで、のんびりできるというのもいいところかなと思った。

(学)

多様なニーズというところが気になるが、子供の人数が多い以上は、多様性というのは必ず発生する。アンケートを出していただいた結果、様々な回答が得られたと思うが、この結果をもとに優先順位を決めてこれを優先的にやりましょうとしてしまうと、どうされるかはわからないが、多様性というところは、どうしても実現性に向けては難しいと思う。私も親としてはアクティブな子供もいたり、インドアな子供もいたりする意味で、それぞれの多様性を生かしたいという考え方は賛成で、どちらかというところこれに優先順位付けして、実現性に向けて動くというよりも、選択肢をいくつか意見が少なくても多くても、一つずつこういう子供たちがいるのだという考え方、こういう考え方を持つ親がいるのだということを知った結果、まんべんなく対応していただきたいというのが一つ意見としてお伝えする。あとはこちらアンケートに書いてないので、私の学童で意見が出たものの一つとしてお伝えしたい。

公設で良かったと言う親の意見を聞くと、指導員の勤務年数が長く、愛着のわくような関係性を築けるというのがメリットである。民設民営に向けて、これから進めていく上で、そういう指導員に対しての愛着を持っていくために、ある程度の任期を設けるなど、検討されていなければ、意見として聞いておいてほしい。

(市)

指導員の定着は大きい。学童で関わった指導員の話は、卒所した後でも出てくる。

(学)

指導員の名前を愛称で呼べるような関係性になれると安心して親も預けられるという意見があり、子供たちも同じ思いでいる。

(市)

指導員の任期というところは設定できるか別にしても、民間でも定着は大事な要素だと思われるので、そこは行政としても大切にしてほしいという考えである。

(学)

ご検討お願いしたい。

(学)

今回のアンケート結果は公開するという結論になったのか。ホームページとかにアップする話でよいか。

(市)

今回のアンケートに関しては、公開は現在のところは考えていない。全部の学童ではなく4か所に限定した活動の結果なのでこれが全ての学童というふうに捉えられてしまうこともあるし、今回緊急アンケートということで設問数も少ないところもあるので、運営協議会委員にご意見をいただく際の資料ということで提供させていただくという状況だ。

(市)

公表をするという前提でのアンケートではないので、この情報について公表はしない。ただ、よりよい運営のために、この運協の中ではできる限りの共有をして、その上で、今回アンケートを取ったこととアンケートの中でどういう要望、結果については、市議会で説明することとなる。細かく出したりはしないが、話題としては、出させていただくことがある。

(学)

承知した。

(学)

スケジュールとして、6月から公募開始というスケジュールかと思うが、6月から開始するという事で変わらないか。

(市)

公募スケジュールについてだが、最初説明したときには6月から公募ということ考えていた。市議会から、再度よく検討するように、また運協の委員の意見なども聞くようにという意見をいただいております、タイミングというのは見直しをさせていただきたいと考えている。

6月のいつからということ決まっていない。早く募集できるようにしたいと思う。今は確定できていない状況である。

(学)
承知した。

(市)
運協の委員の意見を聞いて実施したいというのが一点目、二点目は議会の決議の採択もあり説明をした上で公募する。6月12日に厚生文教委員会があるため、それ以降になるということ。行政側とすると、募集してから作り込む期間をしっかりとった方が、いい学童になるという思いもある。決まった場合は早くしたいと思いがあがるが、市議会の方から一定の指摘を受けて、募集要項など細かいところは反映した方がいいので、6月15日頃、7月1日まで遅らせるのかというのが大きなところだと思っている。

その辺は今後の市議会もある。応募予定の事業者には厳しいかもしれないが、7月1日の方がいいこともあれば、やるためにはスピード感を持って反映してくれれば6月15日でよいと話になるかはまだ見えていない。6月15日、近くのところか、7月1日のところかとのポイントを考えている。

(学)
アンケート結果については特段、予想通りの結果という感じがした。個人的には学童に対して現状、特に不満とかなないので、学童の運営が最低限あれば、問題ないというのが個人的な感想である。

(学)
アンケートの対象が今、大規模化している学童保育所4所に絞っていると思うが、公設の学童に生かしていく意見も考えていただくというところであれば、これで終わりではないと思う。ここの4か所以外に対しても、アンケートを出して意見を聞いていただくという機会は、必要であると考えがいかがか。

(市)
今回は、緊急アンケートということで、4か所に絞らせていただいている。今後アンケートに関しては、他の学童に関してはどうしていくのかというところは考えていないので、検討させていただく。

(学)

意見を小金井市の学童の4か所に特定する必要はないと思っているので、逆に実施してほしいというお願いになる。実施すること自体に、問題があるとは思わない。その意見を吸い上げていただいた結果どうするかは、それぞれの学童の事情もあると思う。そこは小金井市として意見を聞くべきではないか。

(市)

保育園の方の運営協議会に関わった方はご存じかと思うが、保育園の方は元々五園連の方でアンケートをとって、行政の方で取りまとめている、概ね2か月に一回なのだが、5月の今日と7月として夏休みにとれたらという状況だ。改善の部分もある、行政の予算要求の時期になるので、生かせるものは生かしたい、アンケートの負担とかの問題もあるので、お預かりしてどういうふうにしたらいいかを検討させていただくのがよいと思う。

(学)

それに対してご検討いただいた結果、またその方向性というのはあると思う。

(2) その他

(市)

今後の運営協議会の議題について具体的に伝えたい。

民設民営学童については、今後もその都度経過を報告させていただければと思う。もう一つは、令和6年度実施予定の学童保育所運営委託のプロポーザルを行う。昨年度は、さわらび、みなみ学童を実施した。あかね、まえはら、みどり学童のプロポーザルを6年度実施予定。プロポーザルについて、7月頃から運営委託の仕様書の案を提示して話を進めていければと考えている。

(市)

その他ということで、今の学校のトピックなどあれば報告いただきたい。

(市)

全体的なことと言うと、新型コロナウイルス感染症が二類か

ら五類に移行したのを受けて、3年間ずっと制約があった中で保育の内容も試行錯誤しながら各所運営してきた。全学童の関係者の会議で、徐々に緩和する流れにしようと思いを打ち合わせをした。学童の最上級生である3年生4年生と保護者はこのコロナの生活しか知らないで、急激に変えるのではなく、徐々に戻していこうという話になっている。また戻すだけでなく、新たな対応など（大規模化対応も含めて）も検討していこうという話になっている。

(市)

次回は令和5年6月27日、火曜日19時からとなる。今年度8月の開催について、令和4年度も同様だったが、協議会の開催は見合わせている、7月開催の後は、9月ということではよろしいか。

(学)

年間の予定決まっているのであれば、出していきたい。

(市)

予め日程を決めて、特段変えた方がよいときは調整させていただく。開会に関しては副委員長と調整させていただきたいと思う。

3 閉会

令和5年度第2回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。